

霊長類を用いた 先端医科学研究の現状

第3回 霊長類医科学 フォーラム

2007年12月6日【木】

〔開催時間〕9:30～17:00

〔場 所〕つくば国際会議場（茨城県つくば市竹園2-20-3）

参加費無料

Program

9:30～9:45 **開会挨拶** >>>（独立行政法人医薬基盤研究所理事長）

9:45～12:30 **〔特別企画〕霊長類を用いた先端医科学研究の現状**

PETを用いた霊長類の分子イメージング研究

>>> 塚田秀夫（（株）浜松ホトニクス・中央研究所・PETセンター長）

黄斑変性カニクイザルの病理学的解析と治療法開発への利用法

>>> 岩田 岳（独立行政法人国立病院機構東京医療センター
臨床研究センター（感覚器センター）分子細胞生物学研究部室長）

脳内電気刺激による随意運動学習の誘発

>>> 岩本義輝（筑波大学基礎医学系生理学部門講師）

カニクイザルを用いたサル由来のレンチウイルス（SIV）ベクター網膜下投与の安全性試験

>>> 池田康博（九州大学大学院医学研究院眼科学講師）

12:30～13:30 ー 昼 食 ー

13:30～14:30 **〔特別講演〕**

The US National Primate Research Center Program

Overview of the entire US national program and
Tulane National Primate Research Center

>>> Andrew A Lackner (Director, Tulane National Primate Research Center)

14:30～14:45 ー 休 憩 ー

14:45～16:45 **トピックス2007**

カニクイザル眼におけるレーザー照射誘発高眼圧の網膜及び視神経への影響

>>> 嶋澤雅光（岐阜薬科大学学生体機能分子学講座准教授）

〈医科学実験施設〉

カニクイザルを用いたAAVベクターの有効性評価

>>> 水上浩明（自治医科大学遺伝子治療研究部講師）

〈感染症実験施設〉

サルのマラリア疾患モデルを用いた新たな研究展開

>>> 川合 覚（獨協医科大学熱帯病寄生虫学教室准教授）

〈基盤研・霊長類センター〉

サル類を用いた循環器疾患モデルの開発とその利用

>>> 揚山直英（独立行政法人医薬基盤研究所霊長類医科学研究センター研究員）

〈予防衛生協会〉

感染サルを対象としたMRI撮像技術の開発

>>> 小野文子（（社）予防衛生協会研究支援企画部長）

16:45 **閉会挨拶** >>>（独立行政法人医薬基盤研究所霊長類医科学研究センター長）

■参加申し込み方法

参加申し込みはE-mail（tprc2007@primate.or.jp）またはFAX（029-837-0218）宛に、所属、氏名（フリガナ）、連絡先（郵便番号、住所、TEL、FAX、E-mail）、を明記のほか、昼食弁当、懇親会参加希望などについてもお知らせください。なお申し込み締め切りを2007年11月30日（金）とします。

詳細（申込書式等）については霊長類医科学研究センターホームページ（URL: <http://tprc.nibio.go.jp>）または予防衛生協会ホームページ（URL: <http://www.primate.or.jp>）をご覧ください。

【主催】 霊長類医科学フォーラム実行委員会
（独立行政法人医薬基盤研究所／社団法人予防衛生協会）

【後援】 厚生労働省（予定）／文部科学省（予定）／農林水産省（予定） 【協賛】 国立感染症研究所（予定）